



四角語句を、線の上に練習するですよ。

英文には、必ず動詞が1つある。つまり、**be 動詞**と**一般動詞**は、一緒に使えない。

# ☆☆51 比較(比較変化、比較級)

現在の文で、**主語が三人称単数 (I、you 以外の 1 人)** のとき、**be 動詞**は **is** とし、**一般動詞**には **s** または **es** をつける。  
(例) He likes TV. (例) Does he play tennis? (例) He doesn't like TV.

**原級** はそのまま、**比較級** は **er** アー、**最上級** は **est** エスト、を語尾につける。

## 27才の時「教える必要って、ないんだ」と、初めて気づきました。

今から19年前のことです。…「数学の市村先生、いますか?」、高校3年生が質問に来ました。「今、授業中だよ。質問かい?」と私。「はい、**数ⅢC**で…」と教科書を手に。すると「どれどれ~?」と言いながら、**事務のお姉さん**関さんが、笑顔で話に入ってきました。「え? あっはい、ここなんですけど…」と彼。「ふ~ん、で、どこが分からないの?」と関さん。

「はい、ここがこうなって、すると、ここが分かるので、こうなるんですけど、**そのあとが…**、あっそうか! あ~そうだった! 分かりました。関さん、ありがとうございます!」彼は勝手に納得です。「どういたしまして。また聞いてね(^)/」と、関さんも笑顔です。

このやりとりを隣で見ていた私は、その日から、**どんな科目の質問も、必ず聞くこと**にしました。分からない時は、「**それ自信ない**。ごめん、調べたいから、**時間もらえるかな?**」と、**知ったかぶり**をしないと決めました。

これが良かったです。へんなプライドが無くなり、**素直に塾生と向き合える**ようになりました。



出典「あさひなく」  
こざき亜衣氏 小学館 より

**問題274** 右の表中に、比較級・最上級を書きなさい(テストです)。※左で丸付けをしなさい。

意味	原級	比較級	最上級	意味	原級	比較級	最上級
	as as	er than	est in, of		as as	er than	est in, of
背が高い	トール tall	トーラー taller	トーレスト tallest	背が高い	トール tall		
速く	ファスト fast	ファスター faster	ファステスト fastest	速く	ファスト fast		
早く	アーリー early	アーリアー earlier	アーリエスト earliest	早く	アーリー early		
幸せな	ハッピー happy	ハピアー happier	ハピエスト happiest	幸せな	ハッピー happy		
忙しい	ビズィ busy	ビズィアー busier	ビズィエスト busiest	忙しい	ビズィ busy		
大きい	ビッグ big	ビッグアー bigger	ビッグエスト biggest	大きい	ビッグ big		
温かい	ホット hot	ホッター hotter	ホッテスト hottest	温かい	ホット hot		
赤い	レッド red	レッダー redder	レッドエスト reddest	赤い	レッド red		
良い	グッド good	ベター better	ベスト best	良い	グッド good		
上手に	ウェル well	ベター better	ベスト best	上手に	ウェル well		
たくさん(数)	メニィ many	モア more	モウスト most	たくさん(数)	メニィ many		
たくさん(量)	マッヂ much	モア more	モウスト most	たくさん(量)	マッヂ much		

● 逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。



四角語句を、線の上に練習するでござすよ。

# ☆☆51 比較(比較変化、比較級)

英文は、「主語+動詞～」でできている。  
(例) **The book on the desk is mine.** (机の上にある本は、私のものです。)  
これ全部が主語      動詞      ※「動詞の前のすべて」が主語と考える。

**Who makes dinner?** (誰が夕食を作りますか。) 疑問詞の主語は、三人称単数となる。

**強弱をつけて、時期ごとのイベントも考慮して、勉強と向き合ってください。**

私が受験指導をする上で、大切にしていることがあります。「この子は、ここまで到達していれば、今はOKだ。」というOKラインを、子供たち一人ひとりの性格に合わせて決めていることです。

体育祭の前、お祭りの前、定期テストの後など、時期によって必要なこと、できること、残っている気力や体力は、一人ひとり違います。

ですので、このあたりを考慮して、「OKライン」を考えています。妥協と言うか、勉強は長い闘いですから、長期的に考えている、というわけです。

このようにあなたも、自分自身のことを、長い目で見て、勉強と向き合ってくださいと思います。(長い目で考えると、まだ大丈夫だから、直前まで何も考えない、ということではないですよ！)

<日本語を英語にする方法 比較級編>

ステップ1: 比べる相手(～より、の部分)を( )でくくる。

ステップ2: ( )以外を英語にする。←中1の文になる。

ステップ3: ( )内の日本語を英語にして、文末につける。

ステップ4: ステップ3の文のうち、いじる単語を二重線で消す。

そしてその単語の真下に、矢印を下向きに書き、完成文を書く。← と言うことは… [右枠を見てください!]

日本語を英文にするステップ。  
(例) 亮は、亜紀より、速く歩きます。  
ス1. 亮は(亜紀より)、速く歩きます。  
ス2. **Ryo walks fast.**  
ス3. **Ryo walks ~~fast~~ than Aki.**  
↓  
ス4. **Ryo walks faster than Aki.**  
この例のように、問題も解いてみよう。

**問題275** 上のステップに従って進めなさい。

(1) ステップ1 → 彼は 私より 早く起きます。 early than

2 → \_\_\_\_\_ .

3 → \_\_\_\_\_ .

下矢印を書く →

4 → \_\_\_\_\_ .

**get up early** アーリー早く起きる。

(2) ステップ1 → 彼女は 私より たくさん本を持っています。 many than

2 → \_\_\_\_\_ .

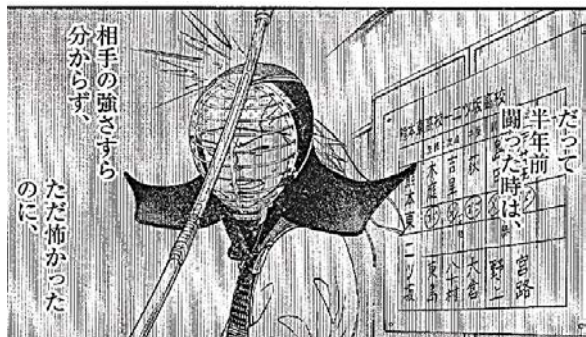
3 → \_\_\_\_\_ .

下矢印を書く →

4 → \_\_\_\_\_ .

「たくさん本」は、セットになります。

**than** 相手は、文末に来ます。



出典「あさひなぐ」  
こざき亜衣氏 小学館 より

泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。



四角語句を、線の上に練習するぞんすよ。

3

be 動詞：です。います。あります。  
主語が複数なら are、三人称単数は is。

## ☆☆51 比較(比較変化、比較級)

英単語の覚え方：ローマ字読みで覚える。

book は「ボオク」、China は「チナ」、write は「ワリテ」のように。

これを2回、紙に書く。そして3回目は、何も見ないで書いてみよう(自分テスト)。

まとめ：比較のポイントは、「主語+動詞の次」、つまり、3番目をいじることにある。

もう一つ。**比較変化は、その位置で** 行う。単語を入れ替えないこと。

**問題276** 文を完成させなさい。

(1) I am tall. (文末に than he をつけて)

I \_\_\_\_\_ .

(2) He is a good swimmer. (文末に than I をつけて)

He is a \_\_\_\_\_ I.

(3) I have many books. (文末に than Aki を)

I have \_\_\_\_\_ Aki.

**問題277** 文を完成させなさい。

(1) 私は彼より、背が高い。 tall than

I \_\_\_\_\_ .

(2) 垂紀は久実より、忙しい。 Kumi than busy

Aki \_\_\_\_\_ .

(3) 彼は私より、速く走ります。 fast than

He \_\_\_\_\_ .

(4) 彼女は私より、たくさんペンを持っています。 many I than

She \_\_\_\_\_ .

(5) 彼は私より、背が高いに違いない。 I than

He \_\_\_\_\_ .

助動詞

動詞の原形

「考える」って、本当にしんどい。だからこそ、**頑張った人だけが勝ちます。**

「考えること」って地味につらいです。と同時に、頭の中のことから「いつでもできる」から、「いつまでもやらない。」となりがちです。

このような、簡単にできる事だけれど、みんながやらない事をきちんとする。当たり前のことを当たり前にする。これが差になります。これが成功の秘訣だと思います。ちなみに…

勉強における「誰にでもできること」「ちょっと頑張ればできること」とは何でしょうか。それは、「基本」です。

勉強には、先生に教えてもらう、という過程以前に、単語や重要語句など、最小単位の意味を理解し、それを紙に書いたりして覚えるという、ほぼ**100%**、自力で行わなければならない学習過程があります。これが勉強の基本です。

この基本を地道にやるのが、大きな差になります。今すぐできます。腹をくくって、頑張ってみませんか。



出典「あさひなぐ」  
こざき亜衣氏 小学館 より

挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。

比較の文は、  
中1の文 + 比べる相手  
になります。

比較変化は、その場で！  
その場で変化させましょう。

swimmer スイマー：水泳選手  
「er」は、人を表します。  
※比較級ではありません。

日本語になくとも、  
英語には、必要なことがあります。

それは「動詞」です。  
では、日本語を英語にしたいのに、  
日本語に動詞がなかったら  
どうすればいいのか？  
「です」を補ってみるのです。  
補えたら、be 動詞を使うのです。

このプリント全体に  
言えますが、

than 相手：「～より」  
を文末に、  
早めを書いてしまう  
のも、良い手かな、  
と思います。

挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。



**勉強とは、そもそも重労働。手を抜いて、楽にできることではないのです。**

あなたたちにとっての勉強とは、新しいことを①理解する。新しい知識を②覚える。この2つが「勉強」です。よって、「勉強＝理解と暗記」と思ってください。

「新しいことを知る」とは、あなたたち子供にとって、未開の地を、一人で切り開くようなものです。整備された道路を歩くのとは、わけが違います。

よって、「勉強を一人でする」、ということには、大きなエネルギーが必要になるのです。だからきついし辛いのです。このように勉強とは、そもそも孤独で重労働なのです。

そして①②の結果が「知っている」であり、次は③「できる」が続きます。ちなみにこの③「できる」状態になるには、「やっているの壁」があります。そしてここが本来勉強の核になります。

「学習場面」を大まかに考えますと、①は学校、②は自宅、③が塾です。塾は①も入ることが多いです。よってあなたは、②の自宅で「覚える」ことだけは、自分にしかできない役割だと強く意識して、頑張ってみてください。



出典「あさひなぐ」  
こざき亜衣氏 小学館 より

英単語の覚え方：教科書の余白に、そのページの難しい「英単語と意味」を、セットで書きこむのです（予習で）。そのページに出てくる分からない単語は、そのページ内のどこかに、すてにあることで、復習や単語の暗記がすぐできます。

私（塾長）も、32ページの単語テスト、5分後にするよ。と言います。

## 5 I 比較（比較変化、比較級）[解答]

## [解答] 比較（比較変化、比較級） 5 I

問題274 省略。

問題275

- (1)ステップ2 He gets up early  
ステップ3 He gets up early than I  
↓  
ステップ4 He gets up earlier than I
- (2)ステップ2 She has many books  
ステップ3 She has many books than I  
↓  
ステップ4 She has more books than I

問題276 (1)I am taller than he (2)better swimmer than (3)more books than

問題277 (1)am taller than he (2)is busier than Kumi (3)runs faster than I  
(4)has more pens than I (5)must be taller than I

断定の must [～にちがいない] は、助動詞です。助動詞なので、動詞の原形が続く。「彼は私より、背が高いにちがいないです。」と、「です」と言えるので be です。

不安なのは、勝つ可能性があるから。PKをはずしたのは、蹴る勇気があったから。